

# RSA<sup>®</sup> ARCHER<sup>®</sup> LOSS EVENT MANAGEMENT

## エンタープライズ/オペレーショナル リスク管理のユース ケース

### 課題

損失イベントの把握と管理は、効果的なオペレーショナル リスク管理プログラムに必要な不可欠です。今日、多くの組織において、損失イベントの頻度、金額、タイプ、発生原因に対する可視性が低下しています。これは、多くの場合、損失イベントの完全または包括的なリストの欠如、損失イベント管理の説明責任の欠如、および不十分な根本原因分析によるものです。このような組織は、組織内で生じた実際の損失を十分に認識していないだけでなく、組織の将来の損失に対する警告となる可能性のある同じ業界の他の組織に生じたニアミスや損失も認識していません。説明責任の欠如によってリスク管理文化の有効性の低下が進むため、これらの組織では、損失イベント分析や改善策が不十分であるため、一般的に、損失イベントの頻度と金額が増加します。

### 概要

RSA<sup>®</sup> Archer<sup>®</sup> Loss Event Management によって、組織は、実際の損失イベントとニアミスに加え、同じ業界での外部の関連損失イベントを捕捉し、インベントリを作成することができます。周辺アプリケーションと組み合わせることで、損失イベントの根本原因分析を実行することができ、これによって、損失が発生した原因を把握するとともに、類似する損失が将来発生する可能性とその影響を軽減するために適切な措置を講じることができます。トップダウンのリスク アセスメントと自己リスク アセスメントを利用している場合、損失イベントは、これらの一環として評価することができます。Palisade @Risk など外部のモンテ カルロ エンジンを使用することで、損失イベントをエクスポートして、オペレーショナル リスクのモンテ カルロ シミュレーションを実行することもできます。

### 主な特徴

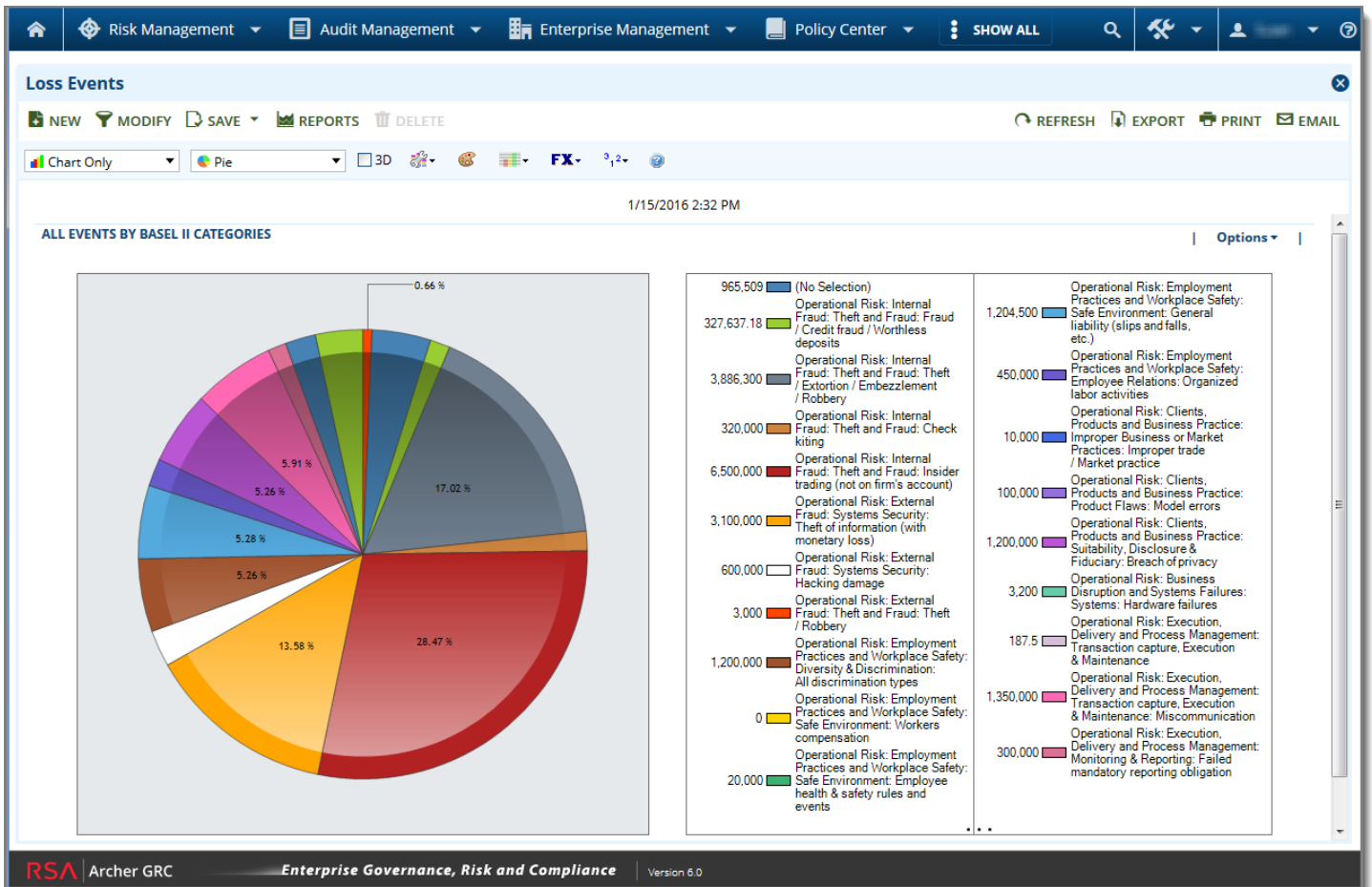
- 実際の損失、ニアミス、調整された外部の損失イベントを含む、統合損失イベント カタログ
- ビジネス ユニットおよび指名された個人により損失イベントを割り当て
- 根本原因分析
- 主要な利害関係者により損失イベントをレビュー/承認
- タイプ/発生原因/所有権の分野ごとに全体的な損失を可視化
- 特定の損失イベントをドリル ダウンして詳細を表示可能
- 類似する損失イベントが将来発生する可能性とその影響を軽減するための改善計画の統合リスト
- 損失イベントは、リスク アセスメントとモンテ カルロ シミュレーションに情報を提供するために使用されているリスク/統制手続きの登録と関連づけることが可能(これらのユースケースが採用されている場合)

### 主なメリット

RSA Archer Loss Event Managementは、以下を提供します。

- 頻度/金額/タイプ/発生原因/所有者別の損失イベントの統合ビュー
- 損失イベントの原因、および損失イベントにつながった問題を修正するための措置(改善計画が計画どおりに適時に実行されているかどうかを含む)に関する明確な認識
- 損失イベントの発生頻度と件数の低減

- 損失管理におけるビジネス ユニット マネージャーのさらなる関与



## 詳細情報

EMCの製品、サービス、ソリューションがお客様のビジネスやITの課題の解決にどのように役立つかの詳細については、担当営業または認定リセラーまでお問い合わせください。あるいは、当社のWebサイト ([www.rsa.com/ja-jp](http://www.rsa.com/ja-jp)) をご覧ください。RSA Archerの既存のお客様であり、ライセンスについてご質問があるか、追加情報を必要としている場合は、RSA Archer ([info-j@rsa.com](mailto:info-j@rsa.com)) までお問い合わせ頂くか、03-6830-3341までお電話ください。